

# 夢 塾 だ よ り

～ 平成から令和へ ～ (第22号)

令和元年 5月8日



平成から令和に変わりました。元号が変わることによる初の10連休で世間は騒がしかったのですが、夢塾は「年中無休」ならぬ『年中夢求』がモットーで連休中も普段どおりにゼミをしました。教育は生産活動ですから片時も休むわけにはいきません。

平成28年度に那覇国際高校を退職してすぐに夢塾をはじめ、もう4年目に入りました。そして、地元「読谷

校」開設です。「子曰く、30にしてたつ」とありますが、30歳で勤めていた那覇市内の塾を辞め、読谷に「高志館」という塾を設立しました。平成2年に教員採用試験を受け、平成4年に県立石川高校で初任研、13年間の教諭時代から5年間の行政時代、6年間の校長時代を最後に24年間の教職公務員生活を終え、再び塾の世界へと漕ぎ出しました。『平成』は私にとってかけがえのないいい時代でした。

迎える令和、どんな時代になるのでしょうか？少子高齢化の波に翻弄されることのない逞しい世の中であることを願っています。私は教員退職後にも何か仕事をしたといういろいろ模索していましたが結局、もとの鞆に収まり塾をはじめたのです。ただ以前と違うのはマンツーマン方式での塾の形態を選択したことです。一斉授業にはない教育のエッセンス（真髄）があると考えたからです。高校時代一番苦しんだのが数学でした。授業が理解できずに数学の時間が来るのが恐怖でした。宿題が出されても自力では解けず、『佐伯君』のノートを写させてもらって提出していました。彼は秀才で北海道大学の獣医学科に進み、大学教授を経た後、現在は西宮市で動物病院をやっています。40年ぶりの同窓会でお会いできて沖縄へも遊びに来てくれました。

高校時代の苦い経験から、私のような意味のない『数学コンプレックス』を他の生徒には持たせたくないとの思いで数学教師の道を選びました。

「縁」あって夢塾の門をたたいてくれた生徒の皆さん、保護者の皆様、本当にありがとうございます。数学ほどシンプルで無駄のない美しい学問はありません。

『数学は音楽だ』と名数学者の言った通りです。私は数学の指導をとおしてより人間味あふれ、豊かな人生の送れる素敵な後輩を育てていきたいと思えます。